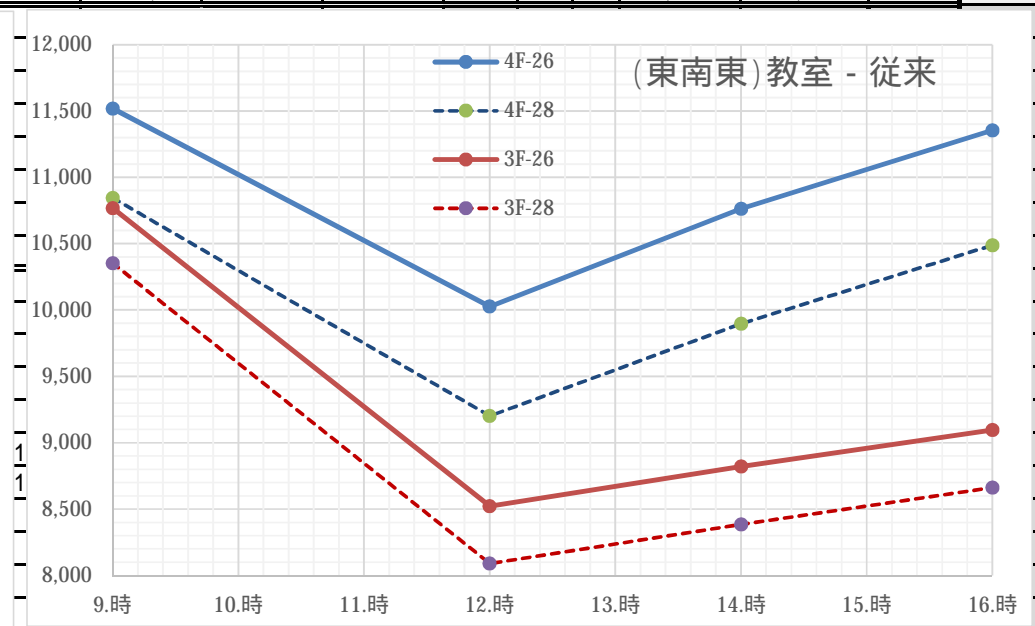
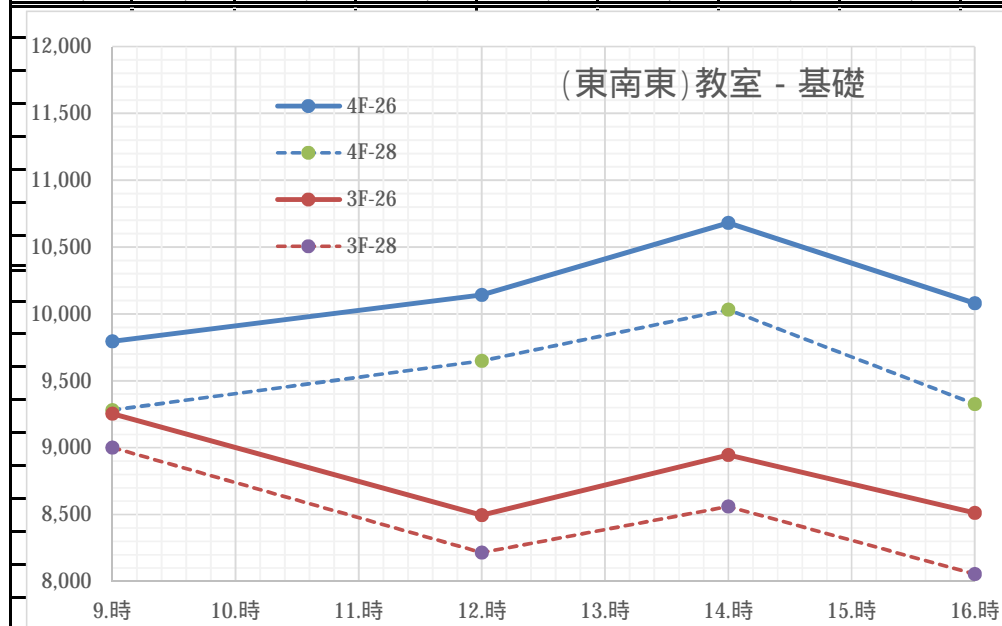


学校教室負荷比較

多くのケースで、従来方式の計算結果からエアコンを選定すると、実績上面積当たりの負荷で決めてほしいとなる。

計算した担当者も負荷計算を信用していない為、容易に受け入れる。従来手法は、窓が大きい、断熱性の悪い学校教室には適応できず、形式的な存在。

夏期 冷房負荷SH (顕熱)				夏期 冷房負荷TH (全熱)				暖房負荷		形状	番	台	冷房SH	暖房TH	備考			
9.時	12.時	14.時	16.時	9.時	12.時	14.時	16.時			エアコン		能力W	能力W					
7,166	7,504	8,038	7,438	9,796	10,143	10,682	10,080	26	9,340	4F-26	基礎	AR	71	2	9,518	13,464	OK	AR71
6,757	5,989	6,436	6,005	9,255	8,496	8,946	8,513	26	8,123	3F-26	基礎	AR	56	2	7,902	10,602	OK	AR56
8,889	7,387	8,120	8,713	11,519	10,026	10,764	11,355	26	9,340	4F-26	従来	AR	71	2	9,518	13,464	OK	AR71
8,270	6,016	6,311	6,588	10,768	8,523	8,822	9,097	26	8,123	3F-26	従来	AR	71	2	9,518	13,464	OK	AR71
6,525	6,885	7,263	6,559	9,282	9,650	10,032	9,325	28	8,286	4F-28	基礎	AR	56	2	7,902	10,602	OK	AR56
6,395	5,602	5,944	5,439	9,001	8,216	8,560	8,054	28	6,777	3F-28	基礎	AR	56	2	7,902	10,602	OK	AR56
8,089	6,437	7,128	7,722	10,846	9,202	9,897	10,489	28	8,286	4F-28	従来	AR	71	2	9,518	13,464	OK	AR71
7,748	5,476	5,769	6,046	10,354	8,090	8,386	8,661	28	6,777	3F-28	従来	AR	71	2	9,518	13,464	OK	AR71



基礎手法	従来手法
概ね実感に近い結果となる。但し、屋根負荷の無い3階については朝の輻射熱が外壁温度に直接作用する結果一時的に室温を上げる要素となる。	朝の日射量を全て熱と捉えている為、9時にピークとなる。14時より16時の方が大きくなるのは時間遅れ要素が大きすぎる為。

- ・更に26と28の違いについては、基礎手法の方が輻射熱を直接計算している為、比較上気温要素の影響が小さくなる。
- ・壁体の断熱性が良い一般ビルにおいては、外壁からの熱は小さめ、窓からの輻射熱は大きめに算定され、結果的に誤差は小さくなる。